

持病とお薬教えてください！

なぜ、持病とお薬を教えないといけないの？

歯医者さんに行くとき持病や服薬について問診票に記入したり、先生や歯科衛生士さんから「治療中のご病気や飲んでいるお薬はありませんか」と聞かれますよね。

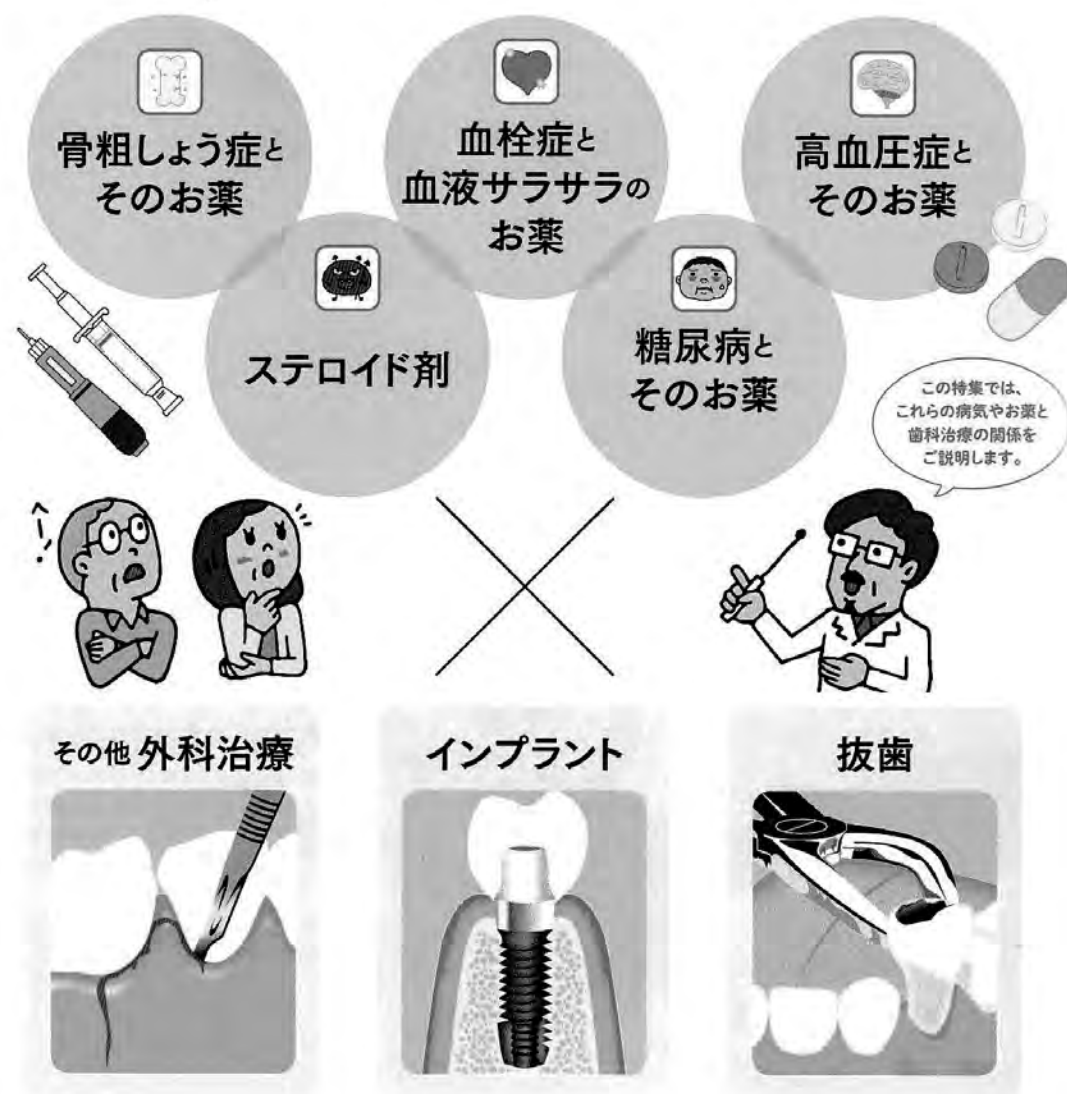
ご自身の判断で「この薬を飲んでいるけど歯科診療には関係ないだろう」「持病についてはあまり言いたくない」と、あまりお話しだけない方も中にはいらっしゃるようです。

ですが、お薬によっては歯科が知らないまま治療を進めようと、生命の危険が生じたり、治療後に痛みや腫れが続いたり、治りが遅くなったりと患者さんが苦しい思いをされることがあります。

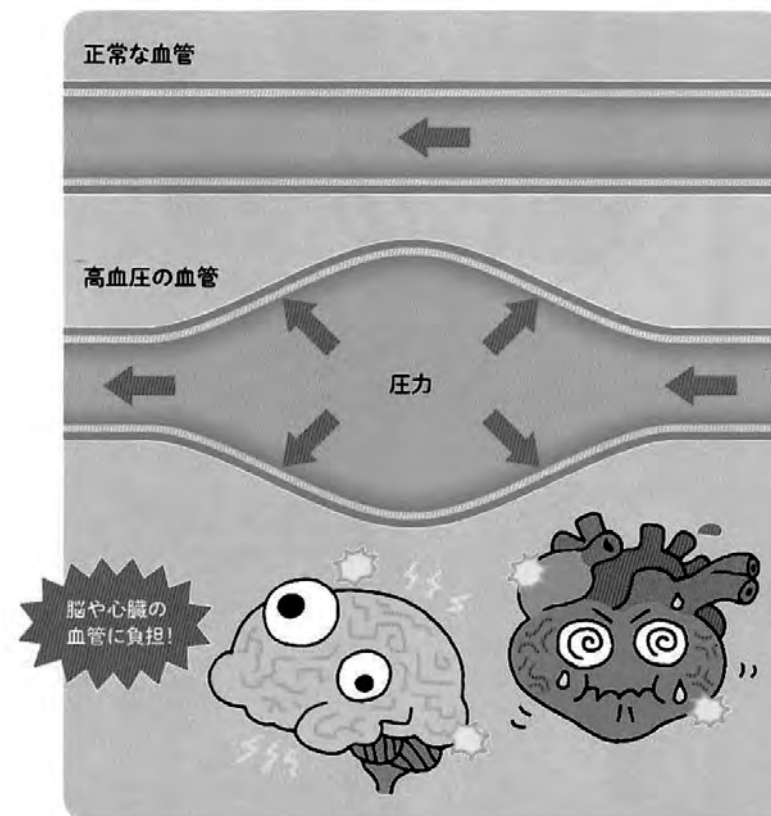
特に病気や薬の情報が大切になるのは抜歯やインプラントなどの外科的な治療を受けられる時です。

色々な病気やお薬が影響するのですがここでは移管されているあるいは治療を受けている患者さんが多い次の五つの病気と薬に絞ってお伝えします。

- ① 高血圧症とそのお薬
- ② 血栓症と血液サラサラの薬
- ③ 骨粗鬆症とその薬
- ④ 糖尿病とそのお薬
- ⑤ 自己免疫疾患などの方が服用するステロイド剤



高血圧症のお薬を服用中のかたへ



高血圧症ってどんな病気？

血管にかかる圧力が高い状態です。血管にかかる圧力が大きい状態をそのままにしておくと脳や心臓への負担となります。

高血圧症は脳卒中や心筋梗塞、心不全の最大のリスクです。脳の血管が破れると脳出血やくも膜下出血を起こし最悪死に至ります。

お薬は何のため？

高血圧症の方が飲んでいるお薬は「降圧薬」と言います。降圧薬には色々な種類があり、その目的は血管にかかる圧力を下げることです。

歯科治療とどう関係する？

脳の血管が破れてしまうこともあります。高血圧症の方は治療時の緊張でさらに血圧が上がります。内圧が上がってパンパンになった血管が破れ脳出血を起こしてしまうことがあるのです。



血栓症のお薬を服用中のかたへ

血栓症ってどんな病気？

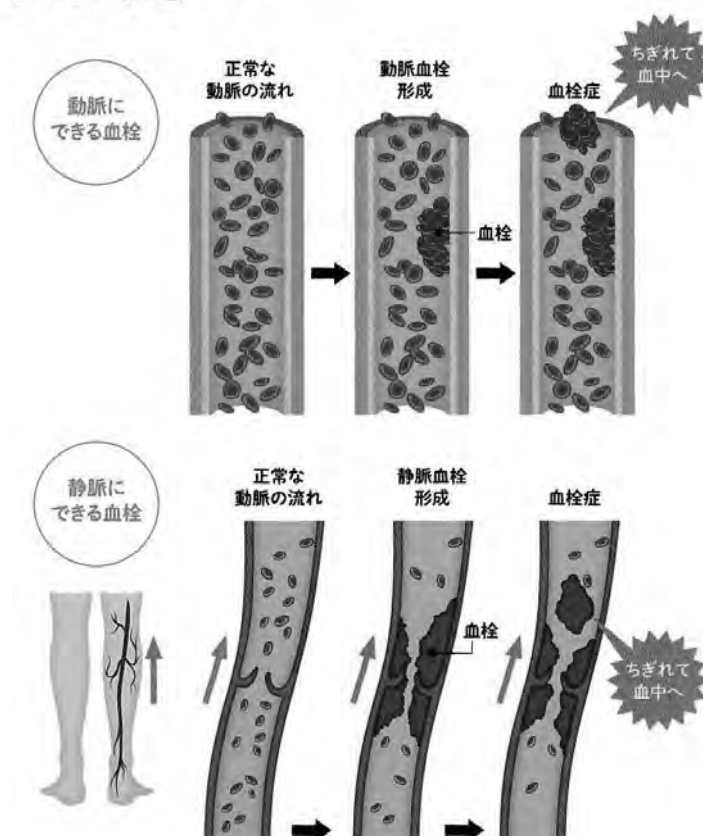
血栓には二種類あり一つは動脈にできる動脈血栓です。血流の早い動脈内で血液の粘度と血流の速度のバランスにより血小板が凝集してしまうことで血栓ができます。もう一つは静脈にできる静脈血栓です。静脈の血流が遅い時に凝固作用のある赤血球とフィブリンが固まった血栓になります。

お薬は何のため？

血栓症の発生を発生を抑制するために飲んで頂くのが抗血栓薬。いわゆる血液サラサラの薬で服用の方が飛躍的に増えています血栓の形成を予防するお薬の他にできてしまった血栓を溶かすお薬もあります。これらは血栓が血管を塞がないように飲み続けなければなりません。

歯科治療とどう関係する？

お薬の作用により血が止まりにくくなります。これは抜歯やインプラントなどの外科治療を受ける時に影響します。





糖尿病のお薬を 服用中のかたへ



糖尿病ってどんな病気？

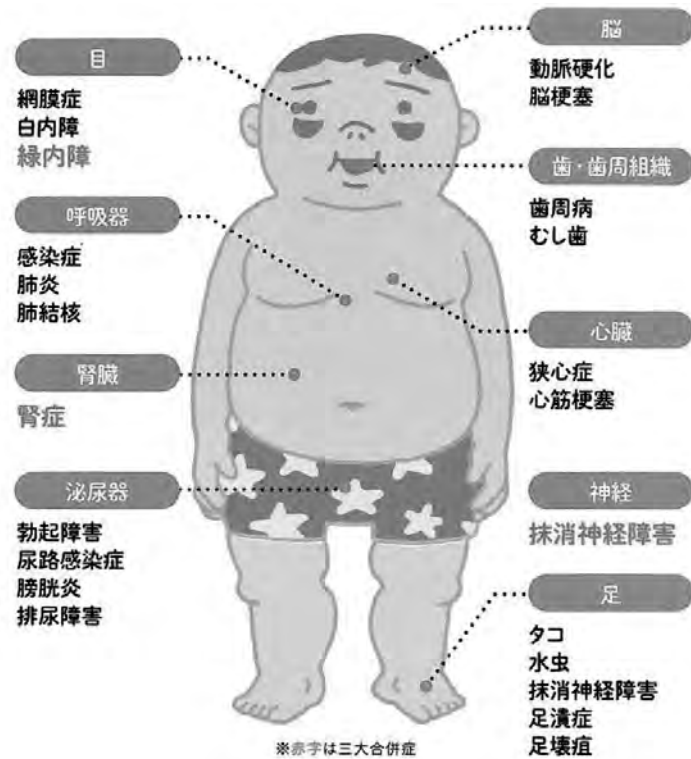
糖尿病は血の中に糖が増えすぎる病気です。血糖が長期間高い状態になっていると血管が傷んでいきます。血管が傷んで硬くなり弾力を失うと、血液が酸素や栄養免疫細胞を運搬するのがうまくいかなくなっていきます。この状態が続くと目、神経、心臓、脳などに様々な機能不全が起こります。

お薬は何のため？

血糖を低下させる作用があります。インスリンが先天的に作られない一型糖尿病の方は、インスリンを補給する必要がありますので注射します。インスリンは出るもののそれがうまく働かなくなっている二型糖尿病の方の場合、大元の原因は生活習慣にあり、注射の前に生活習慣を改める指導をします。

歯科治療とどう関係する？

血糖値の乱降下も起こりやすくなり、血糖の低下は中枢神経系に作用、思考力低下、さらに自律神経も働かなくなると意識を失います。この低血糖性昏睡は非常に危険な状態で、治療中に意識を失ってそのまま…ということすらあり得ます。



ステロイド剤を 長期服用中のかたへ

ステロイド剤ってどんな薬？

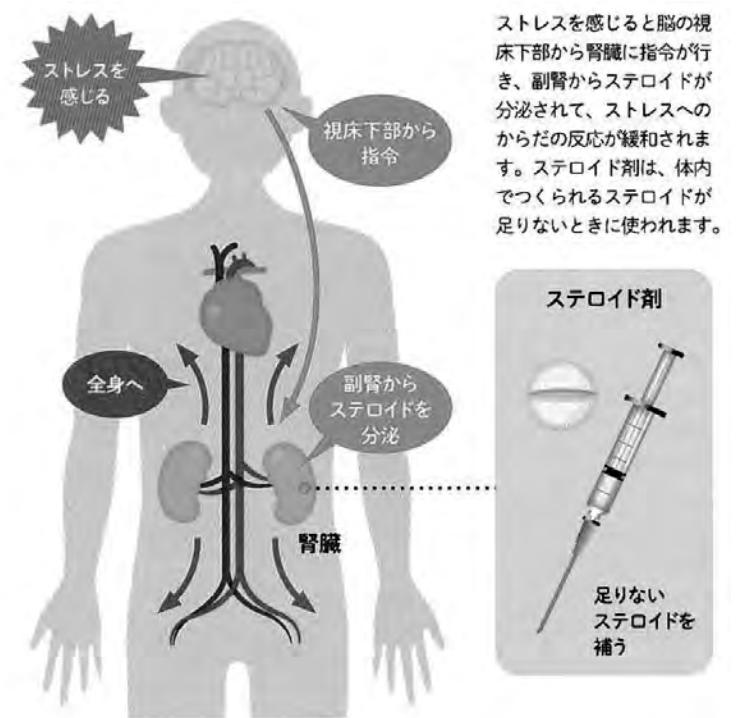
ステロイドとは腎臓の状態にある副腎皮質ホルモンの一種です。このホルモンが持つ作用お薬として応用したものがステロイド剤で、体の炎症や免疫反応抑えるのに、体内で作られるステロイドだけでは足りない時に使用されます。塗り薬以外にも飲み薬や注射薬があります。

どんな人が使っているの？

ステロイド剤は自己免疫疾患をお持ちの方が服用されています。例えば関節リウマチなどです。ステロイド剤は過剰な免疫反応と炎症を抑え痛みや腫れを緩和させます。

歯科治療とどう関係する？

ステロイド剤の長期服用は副腎皮質ホルモンの分泌を抑えますのでその結果、抜歯やインプラントなどの治療後に発熱や嘔吐感、筋肉の痛み、体調の悪化を覚えることがあります。



骨粗しょう症のお薬を 服用中のかたへ

骨粗しょう症ってどんな病気？

骨吸収が形になり骨量が減っていく病気です。通常は骨吸収と骨形成のバランスは釣り合っているのですがこのバランスが崩れて骨吸収の方が大きい状態が続くと骨量が減り骨の内部がスカスカになっていきます。

お薬は何のため？

骨吸収を抑制して骨量が減らないようにするためのお薬が骨粗しょう症の薬で、骨吸収を抑制することから「骨吸収抑制薬」と呼ばれます。飲み薬の他に注射薬もあります。

歯科治療とどう関係する？

骨粗しょう症のお薬を使うと、見た目の骨密度は上がるのですが、骨の新陳代謝が止まってしまいます。この事が抜歯後の傷の治りが遅れたり、インプラント治療に悪影響を与えたりします。歯科治療とは相性が悪いお薬です。



夢デン公式LINE 登録お願いします。



LINE

LINE登録、患者様からも大好評！

ご登録された患者様から
「前日のお忘れ防止通知がとても助かる。
お知らせしてくれてありがとう。」
「予約の変更がとても便利になった。」
「急に痛くなった時に相談できて便利！」
と感謝のお言葉をいただいています。

・医院からのお知らせ・

8月11日(木)～
8月16日(火)
夏季休暇のため休診

発行元

夢デンタルクリニック

札幌市西区西野3条7丁目
5-15

☎ 011-667-4618

〈診療時間〉

月・火・木 9:30-18:30
水・金 9:30-17:00

休診日：土・日・祝